

# 堺IPOP PRESS

堺でがんばる企業応援マガジン



CASE 01:

株式会社 結一産業

同社の広報責任者としても

活動するSekkyこと開発

営業部次長の関口洋平さん

Special Feature

## 「創る」

他社との差別化や社員のモチベーションにつながるオリジナル商品。  
自社独自のノウハウや技術をいかに活かすか、そのヒントを探りました。



この企業にこの人あり!

求められた以上に価値を加えたい  
それがエンジニアとしてのこだわり

株式会社エイワット

尾崎 雅洋さん

SAKAIもの新発見

ラクに持ち運びできて頑丈  
自由な発想で楽しめる「TABLEX」

常磐精工株式会社

CASE 02:

笠井商会

手術用のガーゼを一枚  
ずつ丁寧に縫製する  
笠井奈津子さん





▲写真上：営業ミーティングで出たさまざまな意見を製品に反映。



◀写真左：できあがった試作品のチェックも営業の大切な仕事のひとつ。

「7年前に建設現場に強い日建株式会社とパートナーシップを結びました。同社は建築金物や建材、木材などの配送を通して建設現場に深く入り込んでおり、日

**現場に強い企業をパートナーに  
一気に拡大させた自社製品**

建の社員に同行することで、現場の声を多く聞けるようになったのです。」

他の真似ではないオリジナルをという強い思いは2003年に法人化した折に命名した「結一産業」という社名にも表れています。音楽ビジネスの先駆的存在だった「ユイ音楽工房」や農村で互いに助け合った共同体「結」、そして「唯一」に通ずる言葉として名付けられたのだとか。

2014年に中国に心強い協力会社を得た事が、現場からヒントを得たアイデアを製品化する上で大きな強みとなりました。さらに7年前、同社のオリジナル製品のラインナップが一気に拡大する転機が訪れます。



建築用副資材の開発・製造を手掛ける株式会社結一産業。建設現場で聞き出したリアルな「お困りごと」を解決するソリューション型のづくりで急成長を遂げています。製品の約80%が自社オリジナルだという同社のものづくりへの思いなどを伺いました。

# 現場の小さな不満を 社員の新しい発想で 解決するものづくり

建の社員に同行することで、現場の声を多く聞けるようになったのです。」

面白いのは、その声もすぐに具体的な製品に結びつくものではなく、松本社長いわく「雪だるまの芯のようなもの」だといえます。小さな不満、不便を誰かが聞きだしたら、他の現場で何人にも同じことをヒアリングして回することで開発の精度を上げるのだとか。「建設現場といってもマンションか工場か物流倉庫かで、また同じマンションでも中層か高層かで作業用品は異なってきます。以前に一人の方の声だけで製品を作った大量の在庫を抱え込むという失敗もありました。」

そうしてこれまでに誕生した製品は、休憩時などで着脱するフルハーネスとヘルメットを掛けておける安全ラックや、玉掛け作業時の安全確保のために国が推奨する「333運動」（吊り荷から3m離れて、地切り30cmで一旦停止、3秒間停止して確認をわかりやすく補助する）「333運動介錯用ロープ」など、約600アイテムに上ります。なかでも松本社長が最も思い入れを持っているのは、「タイヤ付きフレコスタンド 台ゴロDX」です。

「現場の産業廃棄物を保管・運搬するのに使用するフレキシブルコンテナバッグを移動させる台車のタイヤが現場の土に食い込んで動かず困っているということでした。そのお困り事を解決するために台車の形状やタイヤを付ける位置で試行錯誤を繰り返して、製品化までに1年以上を費やしました。その甲斐あって、『うち

でも取り扱わせて欲しい」という電話を大手通販会社などからたくさんいただきましたし、得意先の反応も変わりましたね。新しい発想でものづくりすることの優位性を強く実感し、当社はこれで変わると確信できた記念すべき製品です。」

**将来の上場を目指し  
社員がワクワクできる企業へ**

順調に成長するなかで松本社長はさらに、米国の経営書『ビジョナリー・カンパニー』の中で説かれている「時代を超えて際立った存在であり続ける企業」であるための3つのポイント「社員がワクワク楽しいと思える仕事」「利益を確保」「No.1になる」を実践すべく動き始めました。

「それまでの製品づくりは私が主導していましたが、それでは社員たちがワクワクしない。社員自らが製品づくりに関わる会社を目指すことにしたのです。まず営業部は開発営業部と名称を変え、製造の現場を学ぶために中国の協力会社へ研修に出したりもしています。さらに週に1回、経営やマーケティングを学ぶ勉強会を開いています。参加は自由ですが、最初は数人だったのが今では十数人が参加しています。」

将来的には、取り扱い商品を100%自社ブランド「YUYPRO」のみにしたいと語る松本社長。今年には持株会社化を予定しており、今日大手プロショップなどに押されて廃業を余儀なくさせられている建設用品関連企業とさらにパートナーシップを結んで、上場を目指す考えです。

株式会社 結一産業  
代表取締役 松本 良生

既製品の改良から始まった  
自社独自の製品づくり

「本当にカタチにできてくれたんだ」と建設現場の人たちから感動と感謝の言葉を掛けられることが嬉しいと松本良生社長。1992年に創業した時から「存在理由のある企業」を目指して自社独自のものづくりを目指してきたと言います。

「とは言っても、最初は何を作ればいいのかかわらず、前職で樹脂製品を取り扱っていた知識を活かしブルーシートなどの養生資材や工事現場作業用品などを販売していました。そうしたなかで既製品に改良を加えることからスタートしたのです。」



品揃え豊富な倉庫から出荷される製品の数々。

## 特集企業のターニングポイント

7年前に建設現場に強い企業とパートナーシップを結ぶことで、オリジナル製品が一気に拡大する転機が訪れました。今後も、現場の要望やお困り事など生の声を吸い上げ、開発の精度を上げることで、100%自社ブランド化を目指されています。

### 株式会社 結一産業

本社／堺市北区南花田町403-6 ☎072-251-3504

- 設立／1992年創業 2003年設立
- 資本金／1,000万円
- 従業員数／24名
- 事業内容／建築副資材の開発・販売



（株）結一産業  
ホームページ



同社さかしる  
掲載ページ





▲写真上：口腔内清掃用として製品化した「口腔ケアガーゼ」の使用例  
 ▲写真左：手軽に使用できる「口腔ケアガーゼ」

健康医療ものづくり研究会を機に  
 口腔内清掃用製品を新開発

医療用ガーゼの製造には、独特のノウハウや技術が求められます。例えば、体

争力の高い医療用に特化していききました。「医療用ガーゼが一般的でなかった昔は、ガーゼを縫製もせずに使用していたり、市販のガーゼハンカチを手術に用いたりすることもあったようです。切りっぱなしは糸くずが体内に残る可能性があり、安全性への懸念から医療用ガーゼへのニーズが高まっていました。」

当社ではまず、無蛍光のガーゼを取り寄せ、一般のガーゼハンカチをまだ製造していた頃には、医療用ガーゼを縫製する前にミシンまわりをきれいに清掃するなどの配慮をしていました。やがて非常に特殊な製品である医療用ガーゼの製造販売に専念することにしたのです」と笠井健功氏は語っています。



# オーダーメイドの医療用ガーゼで高い専門性を発揮

手術などで使われる特殊な医療用ガーゼに特化して製造販売を行なっている笠井商会。きめ細かい要望にも応えるオーダーメイドが多くの医療現場で高く評価されています。豊富なノウハウと高い技術力で、最近では口腔内清掃用商品を開発しました。

## 笠井商会 笠井 健功

医療用ガーゼの製造販売で競争力を強化

創業は約60年前の1964年。当初は衛生材料の販売から始まったといいます。2代目である笠井貞夫現社長が入社した時に製造も手掛けていこうと縫製技術を習得。衛生材料の販売とあわせてガーゼハンカチの製造・販売を始めたということです。やがて、ガーゼ生地の販売だけでなく縫製もできると知った配送先の病院から、医療用ガーゼを作ってほしいという要望を受けたのが、今日の事業につながっています。しばらくはガーゼハンカチと医療用ガーゼの両方を製造していましたが、まもなく競

内にガーゼの置き忘れがないよう生地に「X線造影糸」が織り込まれているほか、ガーゼの端には紐がしっかりと縫い付けられています。その紐の寸法も細かく規定されているのだとか。

「ガーゼの裁断口から糸くずが出ないように縫製する方法も、大量生産型の大手メーカーでは一つの縫い方で統一していますが、当社は職人による1枚1枚手縫いなので、医師の要望などにより千鳥縫い、メロー縫い、本縫いの3種類を使い分けています。また、手術の内容によって出血量などが異なるため、サイズや合わせ枚数も細かい要望にオーダーメイドで応えており、直接の得意先である大手メーカーに向けての、ひいてはエンドユーザーである医療機関に向けての大きなアピールになっています。」

そうしたなかで、医療現場の声を直接聞いてみたいと健功氏が参加している堺市産業振興センターの「さかい・健康医療ものづくり研究会」をきっかけに、新たな製品が誕生しました。口腔内清掃用「口腔ケアガーゼ」です。

「研究会の中で個別相談会が開かれた時、嚥下障害を持つ患者さんの口腔内を清掃するための製品が作れないかという相談を受けました。これまで裁断されただけのカットガーゼを指にぐるぐる巻きつけて使っていたそうで、その手間を軽減したいという要望でした。単価を少しでも低く抑えるため最初は三角に折って縫ったものを試作品として持ってきましたが、ケア

の途中で抜けないように握り込むための柄が必要なことや、その柄が長すぎても短くてもいけないこと、さらには指を全て覆うものでなければいけないことなどをクリアさせるためにいくつもの試作を重ねました。現在は完成し現場でモニター使用中です。家庭の介護現場でも需要が見込める製品で、今年の発売を目指しています。」

医療用ガーゼを活かした一般向け製品で自社ブランドを

今回の経験から医療現場の声を直接聞きたいという思いが強まり、最近ではメーカーの営業担当に同行させてもらい始めたという健功氏。さらにはエンドユーザーに直接製品を届けたいと自社ブランドの立ち上げも計画中です。

「ただ医療用は滅菌設備などが必要で、負うべき責任も重いことから、安全性や衛生面でニーズのある育児や介護用で医療用ガーゼを使った製品を展開できないかと考えています。すでにいくつかの製品をモニターで使ってもらいました。」

また、これまでわずかなキズでもB品として処分していたガーゼ生地を有効利用できないかと考えています。」

今後は、これまで通り現場の声をカタチにする医療用分野で専門性を発揮するほか、高品質の医療用ガーゼの優位性を広く一般の方々にも訴求できる製品づくりを進めていきたいと健功氏。人の命に寄り添う現場こそが、同社の丁寧で高品質な「日本製」が活かされる市場のようです。

## 特集企業のターニングポイント

自社ブランド商品を立ち上げようという熱い思いで、健康医療ものづくり研究会で医療用ガーゼのニーズ探索を行った結果、口腔内清掃用製品「口腔ケアガーゼ」の共同開発テーマを得て、その実現が間近になっています。

### 笠井商会

本社／堺市西区鳳東町1-62 ☎072-271-0116

- 代表者／笠井 貞夫
- 設立／1964年創業
- 従業員数／10名
- 事業内容／衛生材料製造販売・OEM・受託製作



笠井商会  
ホームページ



同社では一枚一枚丁寧に医療用ガーゼ作りを行う。



## ■ 知的財産活用支援事業

当センターで知的財産関連図書の閲覧・資料の提供を行うとともに、INPIT 知財総合支援窓口と連携して、知財相談を実施しています。

### ＜知財臨時支援窓口＞

堺市内の中小企業等の皆様からの知財に関するご相談に対応するため、INPIT 知財総合支援窓口から相談員を招いて「知財臨時支援窓口」を開設し、相談会を開催します。

相談方法は、対面（現地訪問、または堺市産業振興センター内）、Web 会議（Zoom）の3パターンからお選びいただけます。



堺市内の中小企業者等（開業届出済の個人も可）の方

相談時間 1時間程度



日時は右記のとおり▶令和6年1月26日（金）、2月23日（金）、3月22日（金）  
いずれの日も10：00～16：00

※事前にご予約ください（希望に沿えない場合がございます）。

申込みはこちら▶



### ＜知財関係図書の貸し出し＞

当センター1階の「南大阪ものづくりブース」にて、知的財産権に関する書籍を取り揃えており、入門書をはじめ、専門書、実務書、法律関係書籍など、各種閲覧や貸出も可能です。

◎貸出窓口：3階経営支援課まで

※「知財ぷりずむ」と「THE INVENTION（ザインベンション）発明」は毎月号蔵書しています。



### ＜知財に関する各種セミナー＞

INPIT 知財総合支援窓口の協力のもと、講師を招いて年に一度セミナーを開催しています。

次回開催セミナー予告!! .....

テーマ 新商品・新サービス等開発時に必要な知的財産の基礎知識（仮）

日時 令和6年2月22日（木）15：00～17：00

場所 堺市産業振興センター内会議室

開催形態 リアル + Web  
（講演は堺 ipc 経営支援チャンネルにて公開予定）

対象 堺市内の中小企業 定員 30名程度



### 「さかしる」って、なに？

国が公開している企業のオープンデータ※をもとに、堺市内に本社などを構える約24,000社の法人企業情報を掲載し、市内企業が**自ら情報を入力・公開することが可能**となるオープンデータポータルサイトです。

※国や地方公共団体・事業者が公開したデータで、「誰もが利用（加工・編集・再配布など）できること」「営利・非営利に関わらず二次利用が可能であること」「機械判読できること」「無償で利用できること」といった条件が定められたものです。



さかしるの詳しい情報と登録方法は  
こちら

### 「さかしる」登録方法

#### 1 GビズIDを取得します。

右下のQRコードから国に申請し、GビズIDを取得してください。GビズIDを持っていると、さまざまな行政サービスへのログインが簡単になります。

GビズIDの手続きはこちらから▶



#### 2 「さかしる」のマイページにログインします。

GビズIDとパスワードを入力して、「ログイン」をクリック。マイページを開きます。

#### 3 画像や情報を入力し、「登録確認」を押して完了です。

マイページの入力画面で、画像やアピールしたい情報を入力したら、必ず最後に「登録確認」を押して完了させてください。

「さかしる」  
活用メリット

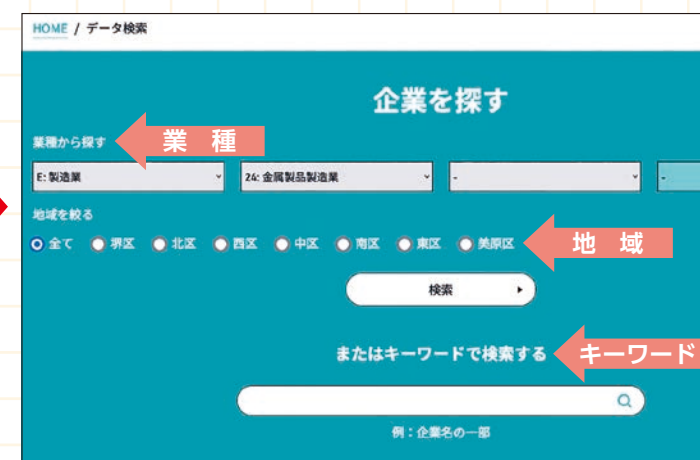
自社情報の積極的な発信により新たな取引先とのビジネスに活用できます。

自社の強みを広くアピールすることで新たな顧客とのビジネスチャンスが拡大します。

「さかしる」のマイページに、自社が持つ技術や設備などを画像とともに掲載することで、新たなビジネスにつながる可能性が広がります。

自社が抱える課題解決のための新たな協力会社を発掘できます。

「さかしる」ではトップページの「企業を探す」より、業種や地域、キーワードなどさまざまな角度から検索できるので、自社のニーズに合った協力会社の発掘に役立ちます。



（参考）実際の「企業を探す」ページ

上記の「さかしる」  
企業検索はこちらから▶





## 交流・共創拠点「Community room cha-shitsu(茶室)」

～学生、起業家や新ビジネス、社会課題解決に挑戦する人が、自由に集い、交流・共創する場～



さかい新事業創造センター(S-Cube)1階に無料で気軽に使える交流・共創拠点がオープン！

「集う、会おう、つながる、体験する」  
新しいイノベーションが生まれる場所に！



### コミュニティマネージャー(常駐)

利用者の実現したいこと、相談ごとをお聞きし、解決してくれる人や情報を繋ぎ、夢や未来をサポート。



### 交流・共創を促進する多様なイベント

起業やビジネススキルアップをサポートするプログラムや、「人と人」「人と企業」「人と地域」をつなぐ交流イベントを随時開催。



詳しくは茶室HPへ



交流拠点「Community room cha-shitsu(茶室)」

■利用時間／月～金 10:00～19:00 ■休業日／土、日、祝、年末年始  
〒591-8025 堺市北区長曽根町130番地42



アクセス

## 令和5年度「堺優良従業員・堺技能功労者表彰式」

—企業・地域経済発展など功績のある137名を表彰—

10月5日(木)、ホテルアゴーラリージェンシー大阪堺において、「令和5年度堺優良従業員・堺技能功労者表彰式」が開催されました。「堺優良従業員表彰」は、堺市内の事業所等に勤務する従業員で、特に企業の発展に貢献があった方々をより広く顕彰し、勤労意欲の向上に資すること、また「堺技能功労者表彰」は堺市内で功労顕著な技能者の社会的・経済的地位と技能水準の向上を図ることを目的として、堺市と堺商工会議所が共催で、毎年実施しているものです。

今年は137名(68事業所)が栄えある表彰を受け、それぞれ永藤堺市長・葛村堺商工会議所会頭連名の表彰楯が授与されました。各部門別表彰内訳(順不同・敬称略)は以下のとおりです。

### 《堺優良従業員表彰》133名

- ◆永年表彰 90名 対象：勤続10年以上、勤続20年以上、勤続30年以上、勤続40年以上、勤続50年以上
- ◆功労者表彰 39名 対象：勤続年数を問わず、特に功労があった従業員
- ◆産業ルネサンス表彰 4名

対象：新商品・新サービスの開発、生産・環境分野での技術開発等、独創的なアイデアや新しい手法等を考案することで、地域経済の再生・発展に貢献した従業員またはグループ

### 《堺技能功労者表彰》4名

対象：堺市域の産業振興及び業界全体の振興・発展に貢献している功労顕著な技能者受賞者氏名等。詳細につきましては、堺市ホームページ下記アドレスをご覧ください。

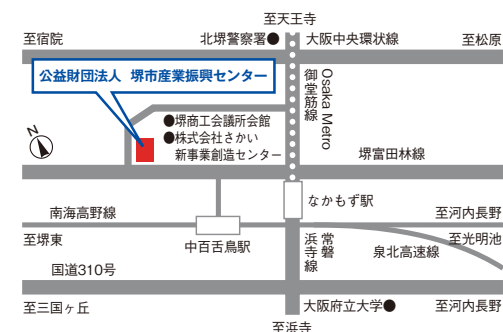
[https://www.city.sakai.lg.jp/sangyo/careerweb/kigyo/saiyo\\_techaku\\_ikusei/hyoshoshiki.html](https://www.city.sakai.lg.jp/sangyo/careerweb/kigyo/saiyo_techaku_ikusei/hyoshoshiki.html)



## 中小企業を全力応援 公益財団法人 堺市産業振興センター

堺市産業振興センターでは、経営相談や技術開発支援、各種セミナーなど研修に関する事業、堺市内中小企業に対する融資関連事業、地場産業の紹介・製品展示・販路開拓に関する事業、情報誌やホームページ・メールマガジンなどによる産業情報発信、福利厚生事業、イベントホールや会議室などの貸出事業と多種多様なサービスでビジネスをサポートしています。

〒591-8025 堺市北区長曽根町183-5  
TEL：072-255-3311(代) FAX：072-255-5200  
<https://www.sakai-ipc.jp/>



●南海高野線中百舌鳥駅より約300m ●Osaka Metro御堂筋線なかもず駅より約300m ※駐車場は、隣接の来客用駐車場(無料)がございますが、できるだけ電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

## 堺市産業振興センター 新コーディネーターのご紹介



堺市産業振興センターでは、中小企業の皆様の経営課題の解決を大手企業や公設試験研究機関の経営豊富なOBがコーディネーターとしてお手伝いしています。新たな仲間として加わったコーディネーターをご紹介します。

### 山口 隆久(やまぐち たかひさ)

※主にサービス業への支援を担当しています。

【専門分野】経営戦略策定、中期計画・事業計画策定、経営改革、業務改革等

【資格】中小企業診断士、1級販売士

【一言】堺市の企業様へのお役立ちによって、地域産業発展への一助となるべく努めさせていただきます。

## 「第97回東京国際ナショナル・ギフト・ショー」に堺の伝統産業品等を取扱う5社が出展!

堺市産業振興センターでは、堺の伝統産業品及び伝統産業品と親和性のある製品の販路開拓を積極的に行う企業を支援するため、日本最大級の国際見本市である東京国際ナショナル・ギフト・ショーへ共同出展を行っています。

令和6年2月に開催される「第97回東京国際ナショナル・ギフト・ショー春2024・LIFE×DESIGN」では、堺の伝統産業品等を取扱う市内企業5社の出展に加え、sakai kitchenのPRを行います。会場にお越しの際は、ぜひ堺ブースにお立ち寄りください。

### 《出展企業》

ハイテン工業株式会社  
マック株式会社  
Fullcolor株式会社  
平山繊維株式会社  
ハウユウ株式会社

### 第97回東京国際ナショナル・ギフト・ショー春2024・LIFE×DESIGN

- 会期 令和6年2月6日(火)～2月8日(木)  
各日10時～18時(8日のみ17時終了)
- 会場 東京ビッグサイト 〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1
- 来場者数 230,000人程度(令和5年2月実績：延べ229,968人)
- 主催 株式会社ビジネスガイド社 インターナショナル・ギフト・ショー事務局  
オフィシャルサイト：<https://www.giftshow.co.jp/tigs/97tigs/outline.htm>

【問合せ先】 堺市産業振興センター 経営支援課 TEL：072-255-1223 FAX：072-255-1185

## 堺市産業振興センター保証付き融資(有担保)のご案内

堺市産業振興センターでは、当センターが債務保証を行う、資金使途に応じた融資制度(有担保)をご用意しております。

・堺市中小企業活力強化資金(設備資金向け)

・堺市経営安定特別資金(運転資金向け)

貸付利率：1.0%～1.4%(固定金利)

保証料：0.5%・0.7%(特別利率)

※設備資金・事業承継資金として利用される場合は保証料率が、全額堺市負担(お客様負担ゼロ)となります。

※上記の他、創業者向けの融資制度もございます。詳しくは、堺市のホームページをご覧ください。取扱金融機関や堺市産業振興センターまでお問合せください。

【問合せ先】 公益財団法人堺市産業振興センター 金融支援課 〒591-8025 堺市北区長曽根町183-5  
TEL：072-255-8484 / FAX：072-255-5162 / (融資お客様専用フリーダイヤル) 0120-072-232  
堺市HPアドレス：<https://www.city.sakai.lg.jp/> から「堺市中小企業融資制度」で検索してください。



## 株式会社エイワット

代表者名／代表取締役 柴田 政明  
本社／堺市美原区多治井20-1  
TEL／072-362-3329

- 設立／1972年創業 1976年設立
- 従業員数／30名
- 事業内容／太陽光・風力・水力発電などの自然エネルギーの開発・設計・施工・O&Mなど



㈱エイワット  
ホームページ



同社さかしる  
掲載ページ

### スマートコミュニティー×防災を展開

同社は、発電した電気をその場で使う「エネルギーの地産地消」や電力会社に頼ることなく、身近な自然エネルギーを使用するオフグリッドシステムなどの新規事業を展開中。



最新機器の3Dスキャナーを導入し、難易度の高い製品も生産できるように。



平成28年、「堺市ものづくり新事業チャレンジ支援補助金」の助成を受け敷地内に作ったマイクロ水力発電の実験装置。



2023年10月、北海道で開催された「エネルギーEXPO」で、同社の新規事業を紹介。



各自意見を出し合い、得意先の高い要望に応え続けている同社。



# 「求められた以上に価値を加えたい それがエンジニアとしてのこだわり」

## エイワットの人材戦略

### 「採る」ことよりも 「育てる」ことを大切に

いくら採用しても定着しなければ意味がありません。教える文化がなかなか根付かず、現在は外部の専門家に委託して、内定後のインターンシップや新入社員のための研修制度などを導入。育てることに注力しています。当社は「社員が幸せになるためのプラットフォーム」でありたいと考えています。

テレビ番組の風車づくりもサポート  
若い世代にもものづくりの喜びを伝えたい  
そうした尾崎さんの印象に残っている案件

し、製造部門が正式に立ち上がったのは昨年4月で、私は研究開発に携わってきました。マイクロ水力発電については流体シミュレーション技術で効率的に設計し、工場敷地内に設けた実験設備で水流実証実験を繰り返した結果、製品の最適化を実現できました。尾崎さんにとって同社はどのような会社なのかという問いには「AIから農業まで驚くほど多岐にわたる領域で事業を展開し、常に技術の探求をしています。そこで私たち技術者も、経験を生かした治具の提案から製作、またはリバーエンジニアリングで、どんな複雑なものでもお客様からのご要望にお応えしています」と答えています。

最先端加工技術の高度化で、私はそれを実際のものづくりに落とし込む役割を担うはずでした。しか



株式会社 エイワット  
代表取締役 柴田 政明 さん

は、男性アイドルグループが新宿のビルの屋上にピオトープを作ったテレビ番組で水を循環させるための風車づくりをサポートしたことです。出演者たちが自力で作るのを指導するプロ集団として番組にも登場しました。「ごも引き受ける会社がなく、最後に紹介を経て当社に話がありました。話を聞けば、放送日が2週間後だということで、翌週には図面を持って行きましたよ（笑）」。2年後には、無人島開拓編で巨大風車も設計しています。現在は、同社も参画する「計測誤差を1/5以下にできる洋上風況観測浮体パイ向け低動揺プラットフォーム開発」が、新エネルギー・産業技術総合開発機構の2023年度「新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業」として採択され取り組んでいるところです。

学校への出前授業や大学生の卒業研究の支援にも力を惜しまない尾崎さん。「課題解決につながるものづくりの喜びを多くの若い人に知ってほしい」と考えています。

### 少しの落差でも発電を行う マイクロ水力発電の実用化に一役

エンジニアとしての長いキャリアを誇る尾崎さんの同社への入社は2014年です。「サポイン事業の目的は、5軸加工などの

1972年に金属機械加工会社として創業。高精度なものづくりが求められる原子力発電の関連施設にも関わっていましたが、2代目の柴田政明社長が次世代にツケを回さない新たなエネルギーはないかとデンマークやドイツなどを視察。太陽光や風力、水力といった再生可能エネルギー事業をスタートさせました。1999年のことです。「日本の政策もまた再生可能エネルギーに目が向けられておらず大変でしたが、民間企業とともに自然エネルギーの促進に努めてきました」。政府開発援助のPAPアニューギニア自然エネルギープロジェクトでは、自然エネルギーを使った電源開発に携わり、日本の山間部や過疎地域における「エネルギーの地産地消」の可能性に向けて事業も立ち上げています。その一つが、わずかな水量の河川にも対応する「マイクロ水力発電」です。2011年度の経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）」で大阪府立大学（当時）と共同開発した高効率トルネードタービンにより、5mという低落差での発電を可能にしました。このマイクロ水力発電の実用化に向け、ものづくりを主導するエンジニアとして柴田社長が期待したのが製造・開発部マネージャーの尾崎雅洋さんです。

サステナブルな社会を実現するエネルギーを  
と早くから再生可能エネルギー事業を展開



# ラクに持ち運びできて頑丈 自由な発想で楽しめる 「TABLEX」



隣のこだわりのモノづくり  
**SAKAI**  
もの  
新 発 見

スタイリッシュなデザインが目を惹く「TABLEX(テーブルックス)」。高いデザイン性だけでなく、天板と脚部の3つのパーツに分かれるため持ち運びやすく組み立て・解体も簡単で、さらにユーザーの用途に応じて連結できるといった機能性にも優れています。アウトドアだけでなく、ラックやフラワースタンドなど室内のインテリアとしても活躍するアイテムです。

一般にステンレスと比べて強度が低いというイメージのアルミですが、常磐精工株式会社が独自に開発した「ロータスパイプ」はその特殊な構造により、アルミの軽量で錆びないという特性を活かしながら非常に高い強度を実現。「TABLEX」の耐荷重も100kg以上の頑丈さです。

2022年11月の発売に先駆けて実施した応援購入サービスでの販売では、初日だけで100万円を超える売上があったとか。購入者からの声を受け、カラーも黒とシルバーの2色展開としたほか、天板と脚部をそれぞれ単体で買い足せるようにしたそうです。喜井翔太郎取締役・営業部長は「アウトドア用品店の什器として活用いただく場合の特注も受けていきたい」と語っています。



## 常磐精工株式会社

代表者名／代表取締役 喜井 充  
本社／堺市北区常磐町3-19-3  
TEL／072-255-1287

- 設立／1964年創業  
1967年設立
- 資本金／2,000万円
- 従業員数／17名
- 事業内容／アルミ製販売促進  
ツール、安全衛生用品、ア  
ウトドア用品の製造・販売



取締役・営業部長  
喜井 翔太郎さん



常磐精工(株)  
ホームページ



同社さかしの  
掲載ページ

2023年12月末～2024年3月末  
頃まで堺市産業振興センター1F  
「さかいモノてらす」で展示予定

中小企業を  
全力応援



公益財団法人

堺市産業振興センター

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5  
TEL:072-255-3311(代) FAX:072-255-5200

